

第1回 新斎場整備推進本部会議

日 時:令和7年5月8日(木)

午後3時45分から

会 場:第1特別会議室

1 議題

(1)新斎場整備推進本部会議等の設置及び検討体制について

(2)今後の取組について

2 その他

議題（１） 新斎場整備推進本部会議等の設置及び検討体制について

設置の趣旨

新斎場の整備について、早期の供用開始を目指して取組を加速し、総合的に事業を推進するため、アクセス道路及び土砂災害対策等を含めた各分野にわたる取組について、庁内横断的な検討組織を設置する

所掌事項

- (1) 新斎場の整備推進に関すること
- (2) アクセス道路や土砂災害対策施設等の付帯施設の整備に関すること
- (3) 地権者や近隣住民、地域団体等の対応に関すること
- (4) その他必要な事項に関すること

● 新斎場予定地「青山」の位置図



● 全景



議題（１） 新斎場整備推進本部会議等の設置及び検討体制について

構成

推進本部会議

本部長	市長
副本部長	副市長（３副市長）、教育長
本部員	市長公室長、総務局長、財政局長、市民局長、都市建設局長、区長（３区長）、政策部長、シビックプライド担当部長、財政部長

推進幹事会議

幹事長	副市長（市民局を所管する副市長）
副幹事長	市民局長
幹事	市長公室長、総務局長、財政局長、都市建設局長、緑区長、政策部長、シビックプライド担当部長、財政部長、まちづくり推進部長、土木部長、副区長（３副区長）、政策課長、総務法制課長、財政課長

※議題に応じ、コアメンバーで会議を開催できるものとする。

議題（１） 新斎場整備推進本部会議等の設置及び検討体制について

構成

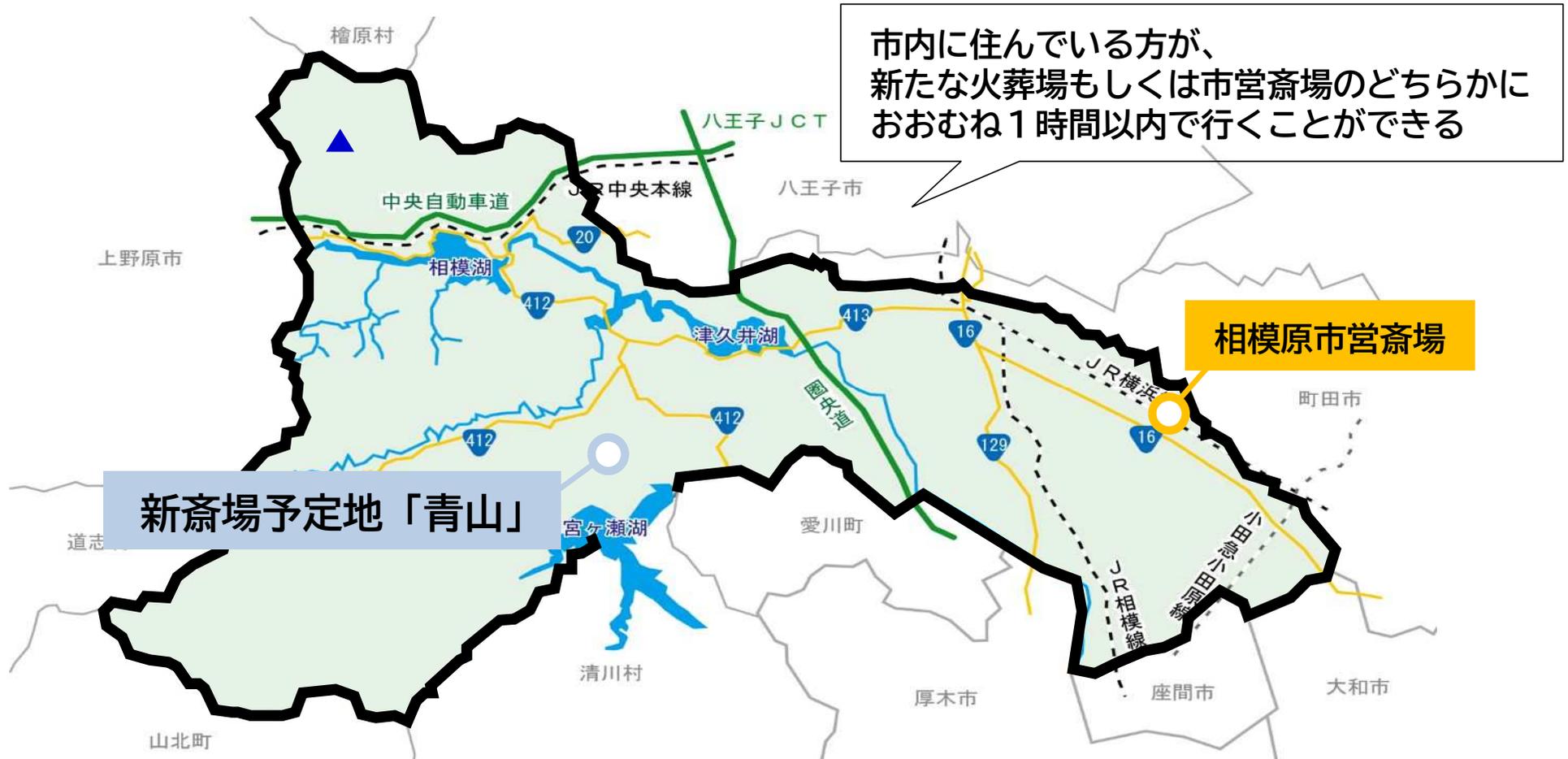
新斎場整備推進連絡調整会議(併せて設置)

座長	市民局長
副座長	斎場準備課長
構成員	政策課長、マーケティング課長、経営監理課長、シティプロモーション戦略課長、総務法制課長、人事・給与課長、財政課長、アセットマネジメント推進課長、公共建築課長、区政推進課長、リニア拠点整備事務所長、都市計画課長、建築政策課長、開発調整課長、建築審査課長、道路計画課長、路政課長、道路整備課長、津久井土木事務所長、緑区役所区政策課長、津久井まちづくりセンター所長

※議題に応じ、コアメンバーで会議を開催できるものとする。

議題（２） 今後の取組について

これまでの経過



議題（2） 今後の取組について

● 新斎場予定地「青山」の位置図



● 全景



【所在地】

緑区青山字熊ノ平2193番2 他

【敷地の規模】

約 4ヘクタール

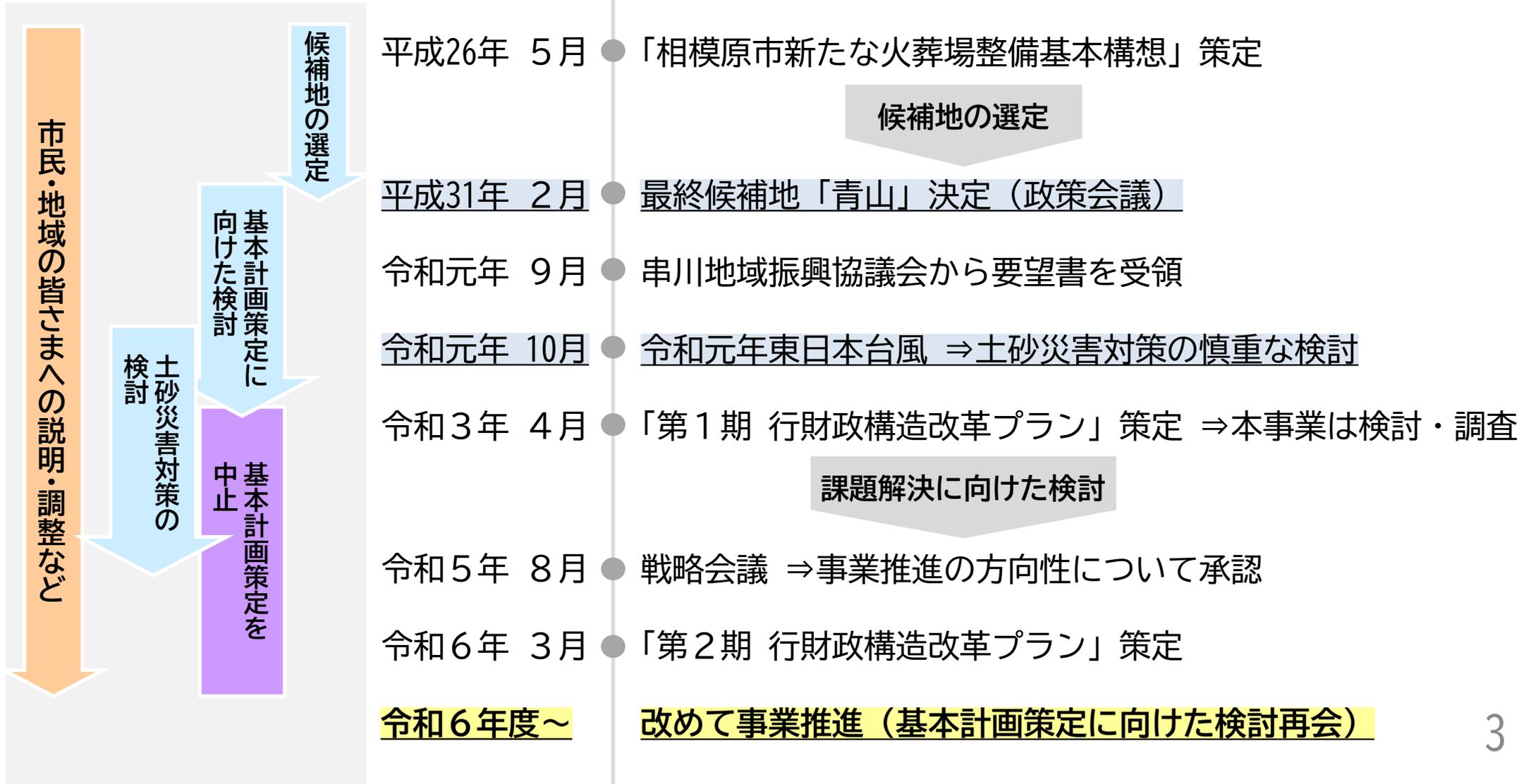
【土地所有者】

帝京大学 (帝京大学 青山グラウンド)

【近隣住民の状況】

グラウンドの境界から概ね300m以内の人家等 …18軒

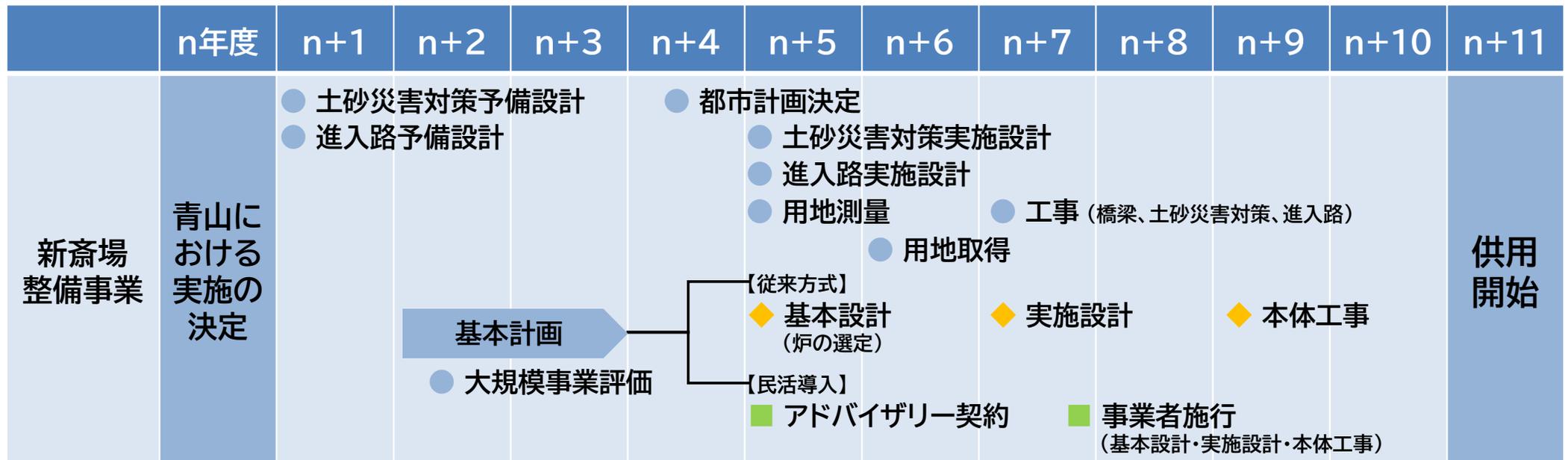
議題（２） 今後の取組について



議題（２） 今後の取組について

供用開始までの想定スケジュール

※ R5. 8. 22戦略会議時点



➡ 新斎場の早期供用開始に向け、今後、基本計画を策定する中でスケジュールを精査

直近で調整・情報共有する必要がある事項

- 大規模事業評価
- アクセス道路に係る事項（道路管理者協議、県警協議）
- 都市計画決定、市道認定
- その他関係機関との調整 等

議題（２） 今後の取組について

基本計画策定・事業手法決定等に向けた取組（R7～8）

令和8年度中の基本計画策定等に向けて、令和7年度は、その基礎となる調査・検討等を実施

令和7年度 基本計画等の基礎となる調査・検討

- 目的
 - ・ 適正規模の検証
 - ・ コストの概略提示（概算事業費及び整備後の収支予測）
 - ・ 事業スケジュールの概略提示 など
- 業務内容
 - ・ 新斎場のコンセプトの検討
 - ・ 施設・設備の検討
 - ・ 土地利用の検討
 - ・ 造成・基盤整備の検討
 - ・ 火葬タイムテーブルの検討
 - ・ 整備・運営手法の検討（事業スキームの抽出、民間事業者意向調査、簡易VFMの算出等）
 - ・ 概算事業費の算出
 - ・ 事業スケジュールの作成 など

〈参考〉令和8年度 基本計画策定等のための詳細な検討

- 目的
 - ・ 基本計画の策定
 - ・ 事業手法の決定 など
- 業務内容（見込み）
 - ・ 左記の業務内容について、より詳細な検討
 - ・ 運営面の検討（ソフト面での土砂災害対策等を含む）
 - ・ 環境対策 など

※ 現時点での想定案のため、今後の進捗等に応じて変更となる場合があります

議題（２） 今後の取組について

施設規模・機能検討の方向性

令和元年度にも施設規模・機能検討の方向性を整理した経過があるが、**本市の火葬を取り巻く状況が当時と比べて変化していることから、現状をふまえ、方向性を次のとおり変更**

	令和元年度当時の検討案	方向性の変更	変更理由
火葬炉の数	8炉	市営斎場 長寿命化改修後の火葬予約枠数を踏まえ、適正な規模を検討	市営斎場における予約枠拡大の取組みの結果を踏まえ、 <u>新斎場の担うべき火葬炉数について再検討を要するため</u>
式場の規模	計200席程度 (パーティションで1～4室に分割)	葬儀の小規模化の傾向等を踏まえ、時代に即した利便性の高い規模	近年の葬儀の小規模化を踏まえ、 <u>市民の皆さまにとって利便性の高い、適正な規模とするため</u> 〈参考〉30人以下の葬儀…全体の約8割
駐車場の台数	少なくとも200台程度	式場の規模等に応じて必要な台数を確保	<u>式場の規模の検討と並行して必要台数を試算する必要があるため</u>

議題（2） 今後の取組について

アクセス道路

道路改良工事に向けた予備設計業務を委託中

- 県道513号から安全に出入りができるように、アクセス道路と県道との交差点新設を検討
- すれ違いに必要な幅員の確保や、道路勾配の緩和、センターラインの設置等をあわせて検討



アクセス道路（現道）の諸元

現況交通量	ほぼなし
現道幅員	3～5m
舗装	コンクリート舗装、 アスファルト舗装
曲線半径	15m未満の屈曲カーブ
縦断勾配	5%～12%以上

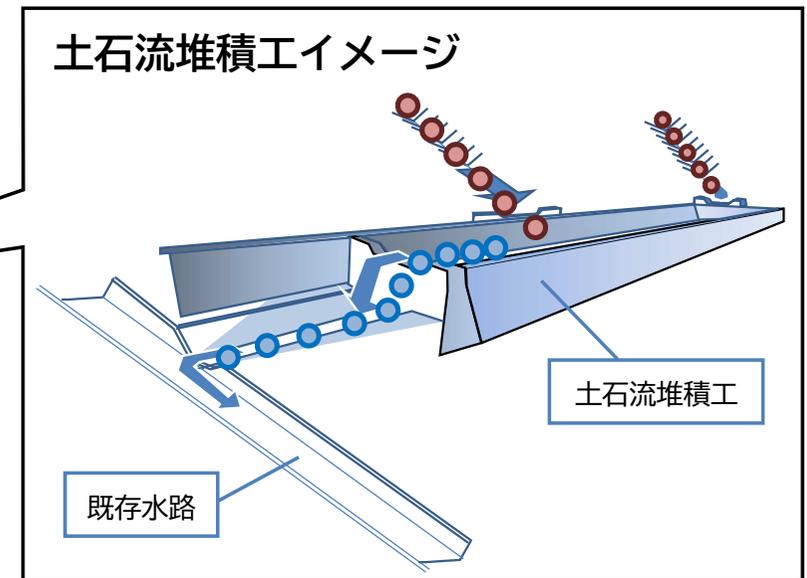
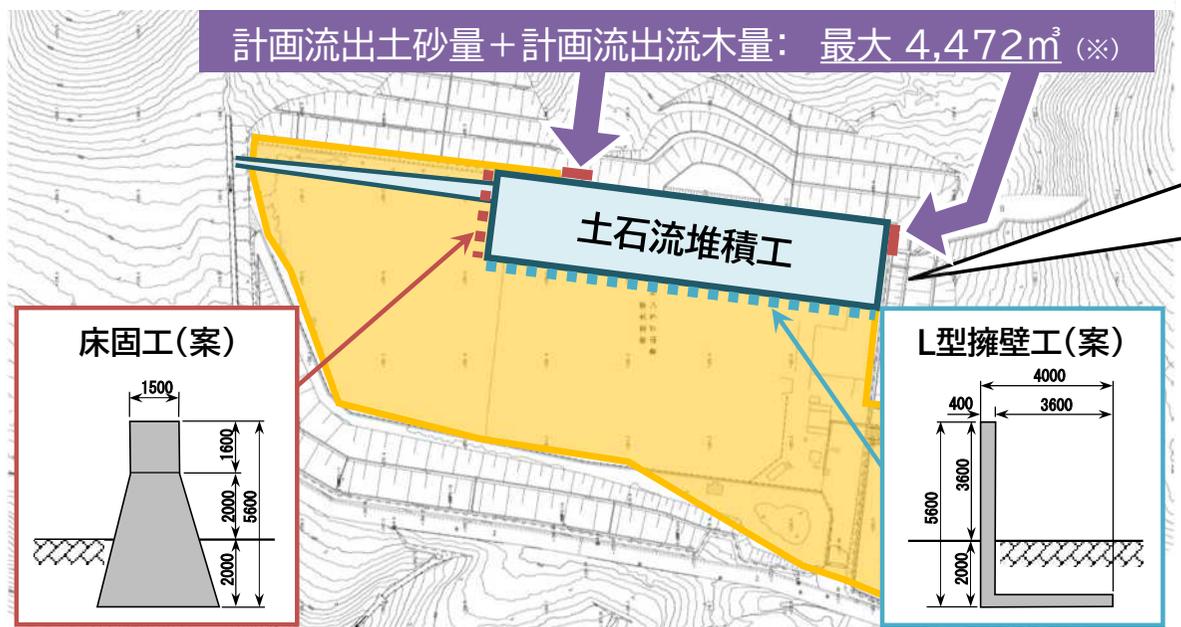
※ 新斎場予定地（帝京大学 青山グラウンド）にアクセスできる唯一の道路

土砂災害対策

土砂災害対策施設の予備設計業務を委託中

- 安全性を担保し、施工性、維持管理性、経済性に優れた土砂災害対策施設として土石流堆積工を検討中
- 今後、ソフト対策（運用面での対策等）を検討予定
〈例〉施設閉鎖・アクセス道路通行禁止の判断基準策定、避難計画策定など

〈参考〉平面図イメージ（令和4年度検討結果をもとに作成）



※ 〈参考〉令和元年東日本台風時に上記の溪流から流出した土砂の量：600m³程度